

# 平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 9月30日  
枚方市立田口山小学校

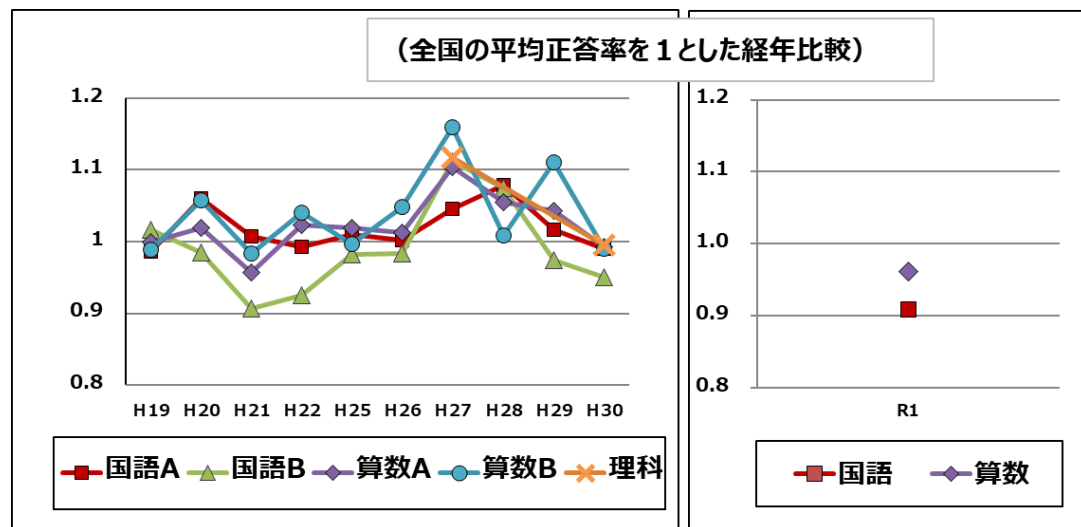
文部科学省が今年4月に実施した、平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

## 【全体概要】

### 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。  
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、  
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。



### < 学力調査結果の概要 >

#### ○国語について

- ・漢字については、読み方の少ない漢字の正答率が高いが、同音異義語の正答率は低い。
- ・記述式の問題は、正答率が低く無回答の児童もいる。

#### ○算数について

- ・グラフの読み取り、その理由について記述する問題は、全国値を上回っている。
- ・図形領域を苦手とする児童が多い。

※本調査は、平成19年度から実施されています。

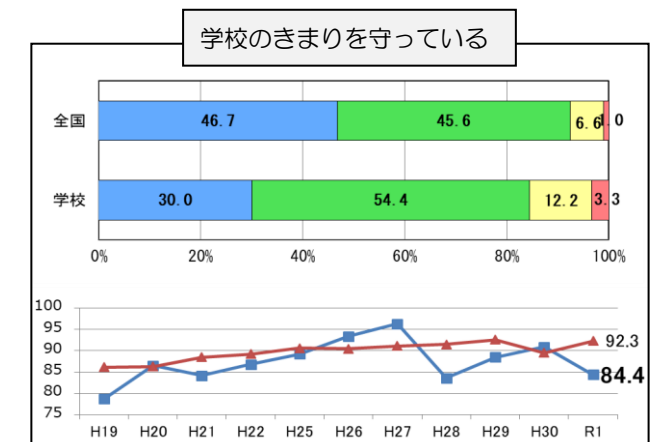
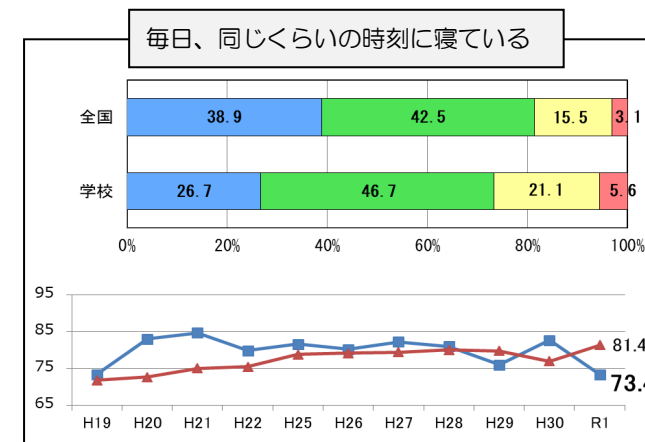
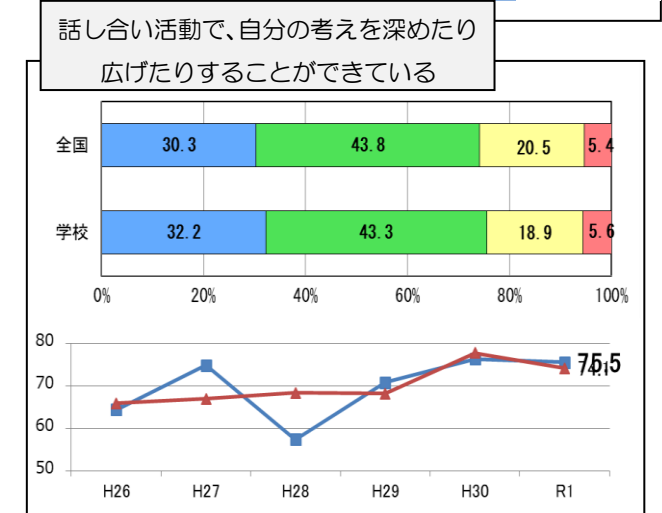
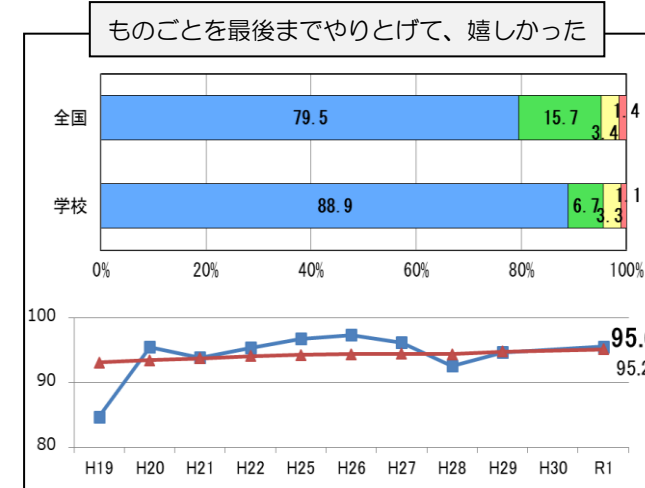
※平成23年度は中止（東日本大震災）、平成24年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

## 質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。  
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国  
■ 本校



### < 質問紙調査結果の概要 >

- 授業改善について→概ね、全国をやや上回る。
- 家庭学習について→計画を立て学習する習慣は下降傾向にあるが、1時間以上勉強する値は、上昇傾向にある。全国値に届くにはまだまだ課題がある。
- 学習規律について→学校のきまりについて、規範意識の低下が見られる。
- 生活習慣について→朝食をとる、決まった時刻の起床・就寝が低い値にある。

## まとめ

話し合い活動では、自分の考えを深めることができるようになってきたので、「書く」活動を通して、豊かな文章表現ができるよう振り返りの時間の充実や作文指導等を行っていく。基本的な生活習慣の確立のため、各家庭と連携を図るとともに、自学自習週間での振り返りカードにより意識できるように取り組んでいく。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

# 【詳細について】

## 教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】 文中で正しい漢字を使う

四 高橋さんは「報告する文章」を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっていくところがあることに気がつき、書き直すことにしました。「報告する文章」の「部」から「ウ」のひらがなを、漢字で正しいものに書き直してください。

ア 部 部 部 部 部  
ウ 部 部 部 部 部

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に「かきあらず」多くの友達に伝え、公共電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

ア ウ イ (ら) (ず)

※解答は、解答用紙に書き直しましょう。

【課題】 接続語を使って内容を分けて書く

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、「二文目の『そこで』」に続く五文字を書き直しましょう。なお、読点(、)も字數にふくみます。

公共電話が必要なときに使うことができます。そのため、どこかへ行くときに、公共電話の設置場所を確認する必要があります。

そこで、

※解答は、解答用紙に書き直しましょう。

イ (限らず)	正答率	無解答率
本校	74.2	9.0
全国	69.4	12.1

ア (対象) ウ (関心)	正答率	無解答率
本校	ア 21.3 ウ 23.6	ア 11.2 ウ 14.6
全国	ア 41.9 ウ 35.6	ア 8.2 ウ 4.9

(考察)

④ (1) 漢字の問題では、問題により正答率が異なり、イの「限らず」では、よく正解しているが、ア「対象」では、「対照」と解答している、ウ「関心」では、「感心」と解答している児童が多いので、文中で同音異義語の違いを意識しながら読み書きしていくことが必要。

	正答率	無解答率
本校	31.5	15.7
全国	47.8	11.3

(考察)

文と文との意味のつながりを考えながら、内容を分けて書く力が必要になる。日記や作文などで、よりよい文章を書くように考える(推敲)ことが課題。

<算数>

成果や課題があった設問

【成果】 二つの棒グラフから、一人あたりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く

2

かいつさんは、水を大切にしているかどうかを知りたいと思います。自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているかを知っています。かいつさんは、グラフ1を見つめました。

(3) 次に、かいつさんは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと考え、グラフ2とグラフ3を見つめ、2つのグラフをもとに考えています。

グラフ1 市全体の水の使用量 (百万リットル)  
1980 1600, 1990 1100, 2000 1300, 2010 1400

グラフ2 市全体の水の使用量 (百万リットル)  
2010 1400, 2013 1400, 2016 1400

グラフ3 市の人口 (千人)  
2010 14, 2013 15, 2016 16

あやさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけ、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

1 1人あたりの水の使用量は、減っている。  
2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。  
3 1人あたりの水の使用量は、増えている。  
4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

私たちが、水を大切にしているといえるのでしょうか。  
市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているかはわかりません。  
グラフ2とグラフ3を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

【課題】  $1800 \div 6$  は、何m分の代金を求めている式といえるかを選び

4) ゆいなさんは、下の問題について考えています。

問題 リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。このリボン1m分の代金は、いくらですか。

1m分の代金は  $180 \div 0.6$  の式で求めることができます。

ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

$180 \div 0.6 =$   $1800 \div 6 = 300$

だから、 $180 \div 0.6$  の答えの  $$  は、300です。

$1800 \div 6$  は、何m分の代金を求めている式といえますか。

下のあからえまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

あ 0.6m分の代金  
い 1m分の代金  
う 6m分の代金  
え 10m分の代金

	正答率	無解答率
本校	58.0	4.5
全国	52.1	2.0

(考察)

資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する内容である。正答率は、全国に比べ高い数値となっている。グラフ2とグラフ3の特徴を読み取ることができており、文章でも1人当たりの水の使用量が減っていることを理解して書くことができていた。一方、無回答率も高くなっている。説明力と文章力をつけていくことが必要。

	正答率	無解答率
本校	37.5	1.1
全国	47.0	2.2

(考察)

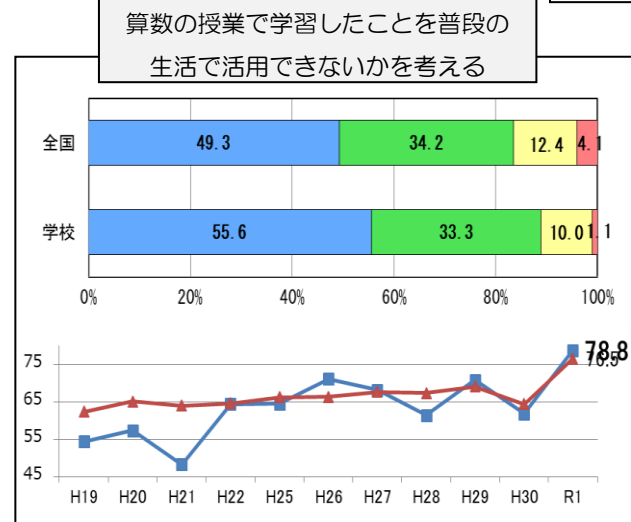
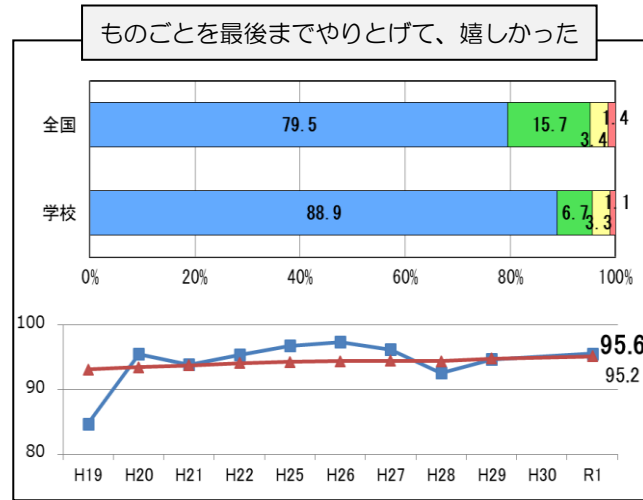
示された除法の式の意味を理解しているかを問う問題である。中でも、①  $1800 \div 0.6$  の式の除数の0.6に着目して、0.6m分の代金と誤って捉えた間違い、②  $180 \div 0.6$  の式で1m分の代金を求めることができることから、被除数と除数を10倍した  $1800 \div 6$  の式では、10m分の代金と誤って捉える間違いがあり、読み取りと注意不足が見られた。

# 質問紙に関する調査

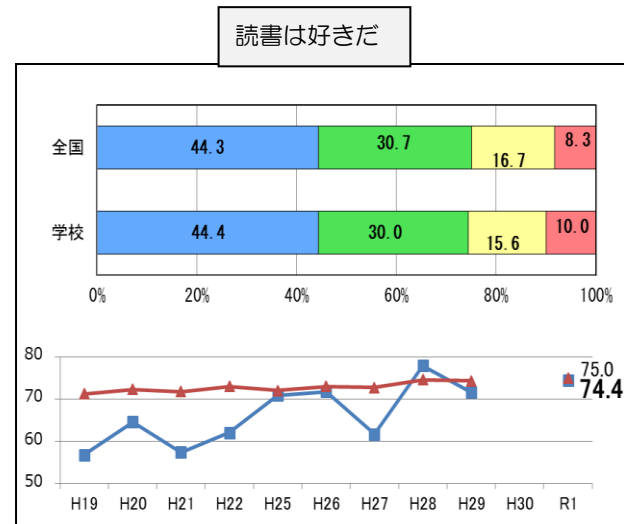
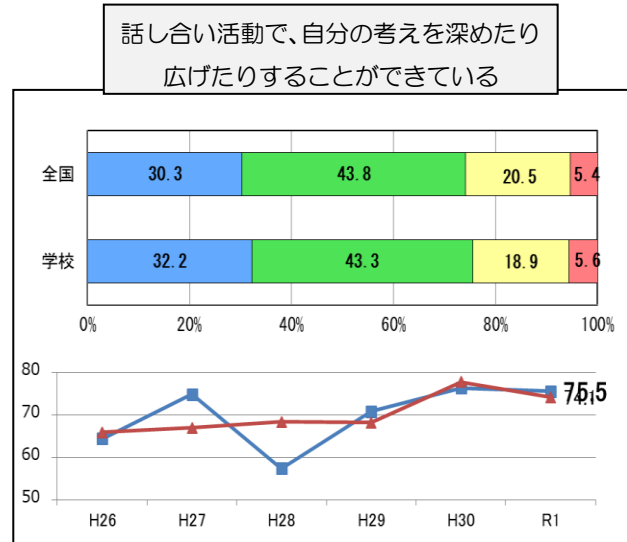
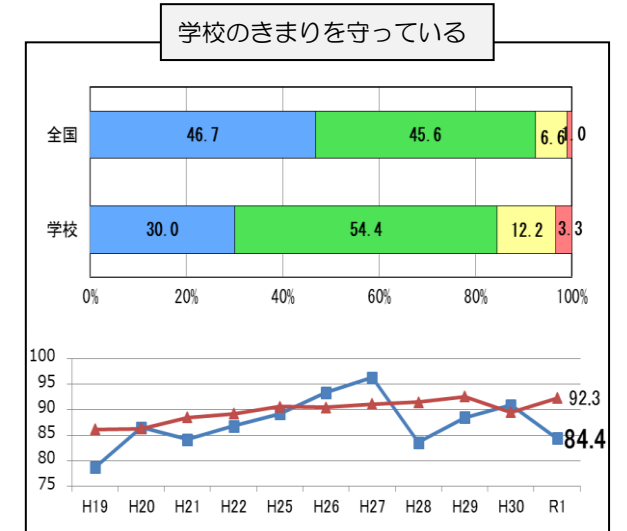
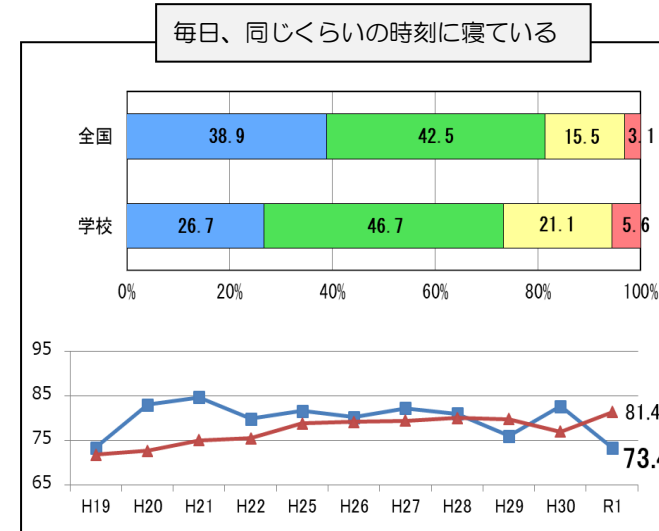
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

## 【成果のあった項目】

▲ 全国  
 ■ 本校



## 【課題が残った項目】



### (考察)

- ・就寝時間にばらつきがあり、生活リズムが整っておらず、前年度を大きく下回っている。
- ・「学校の決まりを守っている」では、全国平均と前年度よりも下回っている。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

### (1) 授業改善について

- ・各教科において、「読む」「書く」「話す」「聞く」活動の充実。  
 特に、話し合い活動により自分の考えを深め広げられているので、文章に表す力をつけられるよう、「書く」活動に重点をおく。
- ・「ことばのちから」を活用し、ことばの力を育む。
- ・「力だめしプリント」「学習コンテンツ」を活用した基礎基本の定着と応用問題の実施。
- ・校内研修の充実
- ・読書月間の取り組み

### (2) 学習規律について

- ・学習用具（えんぴつ・下敷き・ものさし等）の整備への声掛け
- ・チャイムまでの授業準備（教科書・ノート）の定着

### (3) 家庭学習について

- ・「家庭学習の手引き」「自学自習週間」などを活用した家庭学習習慣の定着
- ・「自学自習週間」での振り返りカードによる生活習慣の定着に取り組む

### (考察)

- ・「ものごとを最後までやり遂げて嬉しかった」では、全国平均を上回り、達成感をもっている児童が多い。
- ・「算数の授業で活用したことを普段の生活で利用できないかを考える」でも前年度を上回っている。
- ・「話し合い活動により自分の考えを深めたり広げたりする」は、全国値をわずかに上回った。
- ・「読書が好き」は、全国値並となっている。